

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 空き家等活用グループ 第4回会議		
日時	令和元年8月19日（月）19時～21時	場 所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	空き家等活用グループ メンバー：5名、地方創生推進課：1名		
内容	・今後の取組内容について		
概要	<p>◆北川リーダー挨拶</p> <p>●現在このグループの検討は、正直言うと、行き詰った状態である。どこまで、どんな検討をすればゴールになるのか、迷走している。ただ、まだ出来ることはあるのではないかと思っている。毎回同じような意見ばかりになるかもしれないが、今回も忌憚のないご意見をお願いしたい。</p> <p>◆本日配布資料の説明（事務局から）</p> <p>（資料1）前回会議（令和元年7月25日）の会議録</p> <p>（資料2）福野地域今後の取組内容についての意見書（空き家等活用グループ）</p> <p>→今回、今後の取組内容を検討するにあたり、欠席される方についてご意見をお願いして、まとめたものである。</p> <p>◆現在の状況についての説明（北川リーダーから）</p> <p>○今回初めての参加の方もいらっしゃるので、現在の状況についておさらいしたい。提言の実現について、最終的にやるかやらないかを行政の判断に委ねる部分が多い内容だが、提言のうち何か一つでも実現の方向に進めないと自分たちも達成感がないので、出来れば何かしら実現していきたいと考えている。</p> <p>①駅舎・JR福野駅前の利活用について</p> <p>○JR福野駅から福野高校へ安全な通学が出来るような道路整備や道路規制の取組み、さらに、JR福野駅舎の利活用の可能性を検討してきた。前回は、駅舎の待合部分の快適化について、待合部分と改札部分とを切り、待合部分にエアコンを取付けて、快適なものに改良したいと話していた。エアコンの設置は比較的簡単に出来るだろうが、維持費や修繕費といったランニングコストの捻出が課題。JRとの交渉は行政にお願いするにしても、費用の工面は民間が知恵を絞って、快適な待合空間設置を実現させたいと思っているので、その可能性を引き続き考えていきたい。</p> <p>②庁舎（庁舎跡地）の利活用について</p> <p>○庁舎建物はまだ使えそうなのだが耐用年数が到来するということからすると、利活用に向けた検討は本末転倒であることから、取壊した場合の活用案について検討してきており、南側駐車場部分をエコタウンにするなど、地域の価値が上がるような付加価値を付けた宅地造成の案なども出された。しかし、実際のところは、公共施設再編計画の考えに従って手順を踏むことになるので、民間事業者等との建物の譲渡交渉が上手く進んだ場合は、これまでの検討が水の泡になってしまうということも。そう考えると、どこまで、どう考えればいいのか、行き詰っているところである。</p> <p>③ファブリカ跡地の利活用について</p> <p>○拠点づくりグループでは、ここに複合交流施設を新築する可能性についていろいろ検討されている。それはそれとして、まち中の立地条件の良い場所なので、こちらのグループでも活用の可能性について考えていきたい。</p> <p>④空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について</p> <p>○2泊3日程の日程で、20～30人規模のリノベーションスクールを開催し、まちを変える手法を市全体に広めるもの。これにより、まちづくりのノウハウを広めることができかと思っている。福野家守舎では、今年度は市商工会の予算により、リノベーションに関するコミュニティビジネスに取組む予定。来年度は、リノベーションスクールを広める運びにしたいと考えている。</p> <p>◆意見書の説明（概略のみ記載、提出された意見書の内容は添付のとおり）</p> <p>○岩崎弥一さん</p> <p>①駅舎・JR福野駅前について…クリゾンテムと同じ手法で、旧グリーントップにクリゾンテムみたいなことが出来ないかという構想があるようなことを聞いた。仮に、そこが複合施設になれば、高校生の学習スペースや待合スペースなどを入れてもらって、駅舎で待つ必要がなくなるという可能性もあるかもしれない。</p>		

- ②庁舎（庁舎跡地）について…庁舎の耐用年数云々ということからすれば、庁舎を取り壊して宅地造成するしかないと思う。旧ピステの宅地造成地が瞬く間に売れてしまつたように、福野には潜在的な魅力があるのだから、是非取り組むべきと考える。エコ住宅でも良いだろうし。とにかく人口を増やしたい。
- ③ファブリカ跡地について…福野地域の今後を考えた時、ファブリカ跡地が重要になってくる。市商工会福野支部として、地元商工業を壊滅させる恐れがあるから、この土地を大手資本に売却することのないように再三市には申し入れている。

○嶋田良太さん

- ①駅舎・JR福野駅前について…福野高校があることがメリットだと考える。福野高校に通うことがメリットとなるように、検討におけるビジョンが非常に重要と考える。民間が知恵を出しながら、行政と民間との連携で、高校生を絡めるような内容を目的に、福野で育つ子どもたちのための仕掛けを考えるべきかと。
- ②庁舎（庁舎跡地）について…市では、桜ヶ池でエコビレッジ住宅を計画しているが、あそこは里山エリア向けとして見ている。平野部向けモデルとしてエコビレッジ住宅もあって良いと思うので、庁舎南側駐車場が適地と考えた。庁舎にかかる借地部分は直ちに所有者にお返しして、市有地部分を何らかの形で売却し、庁舎建物の解体費用をどのように回収出来るかも考えてから、庁舎建物を取壊したら良いと思う。
- ③ファブリカ跡地について…この場所で何をしたいかが重要になってくる。例えば、どうしても食べたくなるようなソウルフードなど、何か稼ぐコンテンツを入れて取組むことも必要なではと考える。
- ④空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について…まち中の空き家、空き店舗をどうするか、一つの方向性を考えるべきではないだろうか。

◆今後の取組内容について

(○…北川リーダーの発言、●…メンバーの発言、→…事務局の発言)

- 前回からの続きである、JR福野駅待合部分の快適化について、市の現状を教えて欲しい。
- 市内の現状としては、まず、福光駅の事務室にあるエアコンのランニングコストは、そこで委託業務を行っている福光タクシーさんが負担されているとのこと。次に、城端駅の待合部分の冬季の暖房のランニングコストはJRが負担しているとのこと。ちなみに、暖房器具の電源入切やその燃料補給は入居している市観光協会城端支部さんが請け負っておられるそうである。前回会議でのJR福野駅待合部分の快適化については、現在、担当である市地方創生推進課交通政策係に相談しており、JRに対する要望ということで検討してもらっている状況である。明確な回答については、連絡があり次第、この会議でお知らせしたい。
- 過去に、福野駅正面付近に観光案内板を設置するのに難儀したことを思い出した。JRには頼らない解決方法を見出すべきと考える。
- JRに期待しない方が良いのではないか。
- 駅舎を利用しようと思えば、JRに言わなければならないのは当然。
- JR福野駅待合の快適化について、他に何かアイデアはないか？
- 駅舎に手を加える方向で、何らかの団体が賃貸料やランニングコストも支払う、という方法で、市に間に入つてもらうのはどうだろうか？
- 家賃と光熱水費を生み出すだけの財源が必要になる。
- JR福野駅前の未利用地の活用について、前々回の会議でも、高校生の寮の話から、高齢者や外国人労働者向けなどの複合的な集合住宅の可能性について、いろいろとアイデアを出していた。
- 専門家の立場から、宅地造成でネックになるのはどんなことか？
- 旧ピステの例で言うなら、地主が大勢いること。また、ファブリカのように、掘ったら産業廃棄物が発見されたというのも困る。その処分を誰がするのかで揉めることになる。
- 福野の公共施設の土地は大多数が借地である。買取る方が絶対に得だが、提供した側にすれば賃料を安定的にもらう方が良いのだろう。
- 庁舎跡地を宅地造成するならば、借地はお返しするべきだろう。ところで、現在の福野庁舎に行政（市民）センターは残ることになるのか？
- 今のところはこのまま残ることになっている。もし、仮に拠点づくりグループで検討されている複合交流施設に入ることになれば、庁舎から移転することになるだろう。
- 行政センターが庁舎に残り続けると、それだけで何かしらのランニングコストがかかることになるのではないか。

- 庁舎を統合するということは、市民へのリスクも承知の上でのことなのだから、統合に併せて行政センターも廃止すべきだったのではないかと思っている。
 - 行政センターの行き先が決まらないと、譲渡交渉云々の話も出来ない。出来るだけ早く譲渡交渉に持っていくようになると良い。そうしないと、市の財政再建にもならないだろう。
 - 行政は、単年度決算で物事を考え過ぎ。複数年というか、長い目で投資回収出来るようなやり方を考えるべき。
 - その意見には賛成である。そういう感覚を行政には持って欲しい。
 - エコ住宅ゾーンについては、住みやすい住宅を福野から発信し、市全体として、無駄にエネルギーのかかる住宅が少なくなれば、その分の支出も抑えられる。まちにお金が残るようなことまで考えたエコ住宅ゾーンであるべきと考えた。
 - JR福野駅前について、自分の子どももいざ通学などに駅を利用することになるだろうから、先ほどの話ではないが、周辺に何か出来れば有難いし、そこに大人も関わるような仕掛けがあると相乗効果が得られると思う。
 - リノベーションの推進について。空き家はあるように見えても、使わせてもらえる空き家はなかなか出てこない現状である。そこを何とか出来れば、と考える。そもそも、空き家にかかる固定資産税が安いから、空き家所有者の税負担も深刻にならず、空き家が放置されたままになると思っている。なので、空き家に対する固定資産税が高くなるような対応がなされれば、空き家を早く処分しようと考えてくれるのではないだろうか？
 - 例えば、空き家についての固定資産税を6倍にするとか。
 - 固定資産税だけで見ると、空き家を手放そうというインセンティブにはならないだろう。
 - 空家等対策特別措置法による特定空き家認定の取組を市が行っていないのも事実。
 - 提言の内容をどの辺りまで詰めればいいのか分からぬ。
 - 行政も見えていないと思う。具体的な素案を出すまで検討しなければならないのか？
 - 採算が取れて、ビジネスに繋がらないといけないだろう。
- 前回会議では、リノベーションまちづくりの方向でどうか、という提案を皆さんにさせていただいたがどうだろうか。
- リノベーションを広めるということは、今年度は商工会事業で取組んでいるが、このグループでは提言を深堀りすればいいのだろうか。
 - 駅前周辺やファブリカ跡地の利活用についてはなかなか深堀りも難しいし、やはり、庁舎を取壊して更地にして、ということで検討していけば良いのではないか？解体費用や造成費用から逆算して、1坪▲▲円で売れば解体費用と造成費用は相殺出来る！と示すことが出来そうだが。
 - 庁舎については、早く取組まないといたずらに市のお金を捨てることになる。
 - 今後の検討内容の方向を決めないといけない。駅前未利用地の件については多少なりとも期待すれば良いのだろうか。
 - これから交渉にはなるだろうが、駅前の好立地の場所の話なので、活用させてもらえると有難いと考える。
 - リノベーションの推進についてはどうか？
 - 福野家守舎のビジョンがまとまっていないから、家守者のメンバーを含めて他の人も巻き込みながら、ビジョンをまとめていく必要があるのではないか？
 - 今年度の商工会事業では、まちづくりのビジョンの組み立て方も学べると思う。
 - 駅舎の活用については、制約が多くてハードルが高い。一方、庁舎の跡地利用については、メンバーのお力も借りながら進めることができるのでないか。次回会議では、暫定的に残り続ける、行政センター部分のランニングコストを示してほしい。
- 了解した。
- メンバーの岩崎さんに、福野庁舎と南側車庫の解体費用、庁舎跡地と南側駐車場の宅地造成費用をそれぞれ見積もっていただき、次回はその見積を基に、採算のとれるような活用策を検討していくこととしてよいか？
 - (全員) 異議なし

◆次回会議

日時…令和元年10月1日（火）午後7時から
 場所…福野庁舎2階 201会議室
 内容…具体的な取組内容の検討

福野地域提言実現検討組織

空き家等活用グループ 会議

R元.8.19(月)

第4回

◆現在の会議の状況◆

①駅舎・JR福野駅前の利活用について

・JR福野駅前～福野高校

安全な通学の確保 → 道路整備
・道路規制

・JR福野駅舎の利活用の可能性

前回 待合部の快適化の
可能性を検討

③ファブリカ跡地の利活用について

・まち中の立地条件の良い場所

↓
活用の可能性を考えていた

福野
家守舎
検討会議
とよだらに

②駅舎(駅舎跡地)の利活用について

・駅舎建物はまだ使える

(R7年度)

↓ But! 耐用年数到来 2025年度

取壊しの場合の活用案を検討して

→ 地域の価値の上がるような
付加価値を付いた宅地への造成

(EX) 駅舎南側(P)をエコタウンにする etc

But! 民間事業者との建物の譲渡交渉が進むと
これまでの検討が水の泡…

15011

どこまで、どう考えれば良いのか行なって

④空き家・空き店舗に関するリバーサルの推進

リバーサンスクールの開催

2泊3日
20～30人
規模

まちを変える手法を市全体に広める

まちづくりのノウハウを広めることが可能となるのでは

福野
家守舎

今年 リバーサンに関するコミュニティビジネスへの取組予定

来年 リバーサンスクールを広める運びにいた

◆ 今後の取組内容について ◆

岩崎さん
ご意見

① → 仮に駅前に複合施設が出来れば、待合スペースや学習スペースも入れてもらう。
駅舎で待つ必要はなくなるかも

② → 旧ピストの瞬く間に売れて！

潜在的魅が福野にはある!!

人口を増やそよ♪



③ → 福野の今後を考えたら、とても重要な土地

鳴田さん
ご意見

① → 福野高校に通りがメソットとなる間に。
どんなビジョンを持って検討するか

・福野で育つ子供たちのための住まいを行政・民間連携で！

② → 平野部向リモデルの一案

・方舎に係る借地は直ちに所有者に返して！

① 方舎の解体費用の回収方法を決めてから。
→ ② 方舎建物の解体 + 市有地の売却

③ → この場所で何をいいか、稼ぐコンテンツもありか？

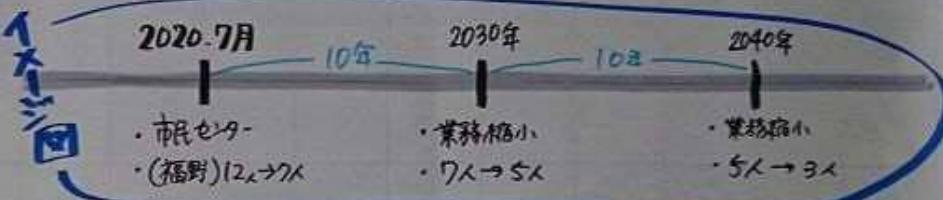
④ → 一つの方向性を考えるべき

Q. 宅地造成でネックになることは？

- A. (EX.)
- ・地主が大勢いること。
 - ・掘ったら、産業廃棄物が発現され、etc...

Q. 現在の福野方舎に行政(税)センターは残るか？

A. 今のところは、このままで。



- ・行政センターが方舎に残り続けると、それだけで、何がじらのランニングコストがかかる！→ 早く移転策を決めるべき。
- ・行政は単年度決算で物事を考へる。
長い目で投資回収出来るような方法を考えるべき。
- ・空き家を手放すきっかけとなるような政策も必要かな？
- ・提言を 受け取り方で詰めれば良いか/かからない。
↓
採算が取れて、ビジネスに繋がらないといけないから

やはり、方舎を取壊し更地にして
て検討するか!?

解体費用
造成費用

1坪100円で
売れれば、

解体、造成は
相殺できる!
と示せそう…

方舎の跡地利用について検討を重ねる

・福野方舎 + 南側車庫 → 解体費用

・方舎跡地 + 南側P → 造成費用
見積ってもらう



宿

・行政センター部分のランニングコストの提示

次回

採算の取れるような活用策を検討

◆JR福野駅待合部分の状況について

福光駅 … 事務室内エアコン → 福光タクシーム

委託業務を受けている

城端駅 … 待合部分の
冬季暖房 → JR

制約が多くて、
取組むにはハードルが高くなる

・JRに頼らない解決方法を見出すべきだ。

次回会議

10/1 (火) 19:00 ~

件名	福野地域提言実現検討組織 空き家等活用グループ 会議		
日時	令和元年 7月 25日 (木) 19時~21時	場 所	福野庁舎 2階 201会議室
出席者	空き家等活用グループ メンバー：3名、地方創生推進課：2名		
内容	・事務局から、提言実現に向けた今後の進め方について確認 ・未利用地の活用の可能性について		
概要	<p>◆未利用地の活用の可能性について (○…北川リーダーの発言、●…メンバーの発言、→…事務局の発言)</p> <p>○前回はアイデア出しをした。どんなことが出来るのか、考える時間が少なかったので、皆さんには次回会議までに各自考えてきていただくようお願いしていた。今日は、皆さんからのアイデアを伺いながら、そのことについて検討を詰めたいと思う。</p> <p>●駅前の未利用地について、前回も話していたように、高校生のくつろげるスペースがあり、飲食スペースもあって、というのは必要。そして、運営は地元の人で行う。学習などに利用できるフリー(学習)スペースがある、というのも、高校がある福野としては、何かしらの対応は考えたい。</p> <p>●庁舎の敷地やその南北の駐車場を、それぞれテーマを持たせた住宅街にする。提言にあるエコタウンのように、特長があって、1つ1つが独立したような町(住宅街)のイメージ。Share(シェア)金沢のように特長のあるエリアが3種類ほどあれば良いかなと思う。もしくは、それを一つにして、福野の象徴となるようなまちづくりになれば、いろいろと発展の可能性があるのではないか。</p> <p>●庄川の木村産業さんが開発した住宅造成地「子育て共感コミュニティ『アミティエ』」は、販売対象が子育て世代限定で、ローン完済可能な価格設定になっているということを聞いた。その地域の子どもはその地域で育てよう、というイメージでの付加価値を付けるという考えが素晴らしい。</p> <p>○「地域で育てよう」というのなら、例えば、子育て世代に限定せずに様々な世代の構成とした方が良いのではないか。世代を分けるよりも混ざっていた方が、年齢を超えた交流が考えられそう。世間には、六本木ヒルズのような高所得者向けの集合住宅もあるが、米国ポートランドの例では、そこで集合住宅を建築しても入居者を区別してはならない、という法律があるそう。高所得者、低所得者、高齢者、子育て世代などが混ざって住むことを強制してでも進めている、そんなイメージである。</p> <p>●区別することで、差別を疑われ兼ねないという意識も必要なかもしれない。 →安全面を考えても、区別しない方がいいのかも。</p> <p>○ファブリカ跡地では、何かアイデアはないか？</p> <p>●ここも、特徴のある宅地造成が必要と思われるが、産業廃棄物問題の件はどうなった？ →処分費用の負担をどうするか訴訟中で、まだ解決していないと聞いている。</p> <p>●今後の検討に影響が出るのでは。 →少なからず影響は出てくるであろう。</p> <p>●子どもたちの未来を考えると、子育て環境は、3世代、4世代同居など、昔に戻ってほしい。そんなことが実現できるような住宅街が理想。</p> <p>○前回確認を依頼した、JR福野駅舎の待合部分の改良の可能性について聞かせてほしい。 →赤字路線であることから、JRが取り組む可能性はゼロに等しいだろう。市などが手を掛ける事は、改良の内容にもよるだろうが、可能性はゼロではないと思われる。</p> <p>○市が間に入って、民間で資金を集めて…、という方法でも可能性はあるか？ →そのような可能性もあるだろう。JRは、費用負担をしてくれれば問題ないというスタンスだろうと思われる。城端線利用活性化の位置付けで取組む方法も考えられるかもしれない。</p> <p>○仮にエアコンを設置した場合の維持管理費は誰が支払うのか。また、修理対応等はどうなるのか。事例等について、次回会議の折に聞かせてほしい。 →了解した。</p> <p>○朝日町にある泊駅では、待合室は町で直してもらったと聞いた。 →民間のあいの風とやま鉄道だから、取組みやすかったのかもしれない。確認しておく。</p> <p>○他に、新しいアイデアがないとすると、これらをもう少し、絵に描いた餅にならないようにならざるを得ない。例えば、宅地開発の基準やルールなどのアドバイスをいただける方がほしい。前回会議では、イメージを描いてくれる人がいるといいね、という相談を事務局にして</p>		

	<p>いた。提言実現に向けて、もう少し先に進んだ検討にしたいと考えるが、行政がこの検討の中で自分たちに求める事はどんな事か？</p> <p>→福野の提言は、拠点づくり、空き家等の活用、将来子どもたちが福野に残りたいようにする、の3本柱。この空き家等活用グループについては、例えば、庁舎跡地だけを考えた場合、公共施設再編計画の手順によると、まずは譲渡交渉をし、買い手が付かなければ取壟す、そしてようやく跡地利用の検討に入ることになる。そう考えると、いろいろなアイデアが出ても、実現させるのはとても遠い話になると感じている。</p> <p>①譲渡交渉 → (買い手なし) → ②取壟し → ③跡地活用の検討</p> <p>●もし、途中でどこか民間が買うという話が出てきたら、それまでの検討の話は無くなるということか？</p> <p>→そういう可能性は十分あり得る。駅前、ファブリカ跡地、庁舎といった大きい箇所の利用については、皆さんからの提案が、即採用されるという可能性は低いかもしれない。そういうことから考えると、未利用地の活用を検討するよりも、提言の中にあった、福野家守舎のリノベーションスクール、空き家の改修活用などへの市としての支援やこのメンバーの参加など、リノベーションスクールの実現に向けた取組みの方が現実的ではないだろうか。北川氏との相談にもなるが、提言の実現に向けて、という観点から提案させていただいた。</p> <p>○そういう意味では、拠点づくりグループもなかなか実現しにくい検討をしているよう感じている。</p> <p>→福野に限らず、公共機能の部分は行政で維持管理するが、それ以外の部分について、どんな機能が必要で、それは誰が運営するのか、採算性のある運営の可能性などを検討していただいており、拠点づくりグループでは、福野中部交流センターと産業文化会館の機能を入れて運営していく内容で検討されている。建設にかかる費用は市の基金が見込めるが、維持管理費用は負担出来ない。仮に交流センターが拠点になれば、市から福野中部まちづくり協議会への交付金があるので、それを維持管理費として充てることは考えられるかもしれない。また、テナントによる家賃収入もあるので、施設の建設については現実的になると見込んでいる。まだ、アイデア出しの部分もあるが、どのように運営していくかの検討も始めていただいている。</p> <p>●提言の中で、実現化出来そうなものをやっていくということか？</p> <p>●アイデアは出したものの、実現化の検討を始めるのはまだまだ先になる、ということか？</p> <p>●待つ間に、内容をもっと詰めればいいのか？</p> <p>○JR福野駅待合室の話は、何となく実現出来そうな感じだろうか。</p> <p>このグループで、未利用地の活用策を決定することは出来ないと思う。逆にもっと具体的な検討を、と言わざるも、このグループでの検討はここまでが限界だと思う。自分たちのアイデアを実現させたいのであれば、例えば、宅地造成の場合なら、公共施設再編計画の手順の譲渡交渉の段階で、自分たちの作った会社が買い取って、アイデアのように分譲するような方法しかないだろう。具合的な数字を挙げたところで、専門家に対する費用が発生するし安価ではないから、実現は難しい。その上、入札参加資格も得なければならない。</p> <p>→提案型のプロポーザル方式もあるが、最終的には上層部の判断になる。加えて、議会の議決も必要になる。</p> <p>○提言にあるリノベーションスクールの取組は、今年度は商工会の事業で行うが、来年度以降はどのように進めるか。しかし、これまで検討してきたことの証として、イメージを形にするところまでは進めたい。</p> <p>→福野家守舎の活動自体が提言にあることなので、それを市全体に広めるなど、メンバーがそこに参加することも、このグループでの活動になるとを考えている。例えば、来年、市全体に広げていく方向で進めていく段階で、講師を呼んで講演を開催することもその中の活動かと思う。</p> <p>○勉強会のイメージだとすれば、提言でも実施を盛り込んでいる。</p> <p>→提言は、市への要望ではなく、「自分たちはこうあるべきだ！」という思いだと認識している。だから、自分たちで自主的に進めることが取組みだと考えている。例えば、拠点づくりで言えば、行政の機能を入れる部分は行政で維持管理をするけれど、それ以外の部分は運営方法を考えもらっている。今取り組まれていることについて、もう少し広げて出来ることがないか、というところを考えてみるのもいいのでは。空き家を活用していくこうという考え方、市全体に広めるための勉強会を企画して実行していくという取組みも良いのではないか。</p> <p>○講演会となると、お金のかかる話ではある。</p>
--	--

→利用出来そうな補助金もあると思う。なかなか頻繁にはないかもしれないが。

●これまでに出した活用案は、整理して今後のアイデアとして残しておきたい。

→提言の別紙として添付して、必要な時に使用できるようにしておいたらいいと思う。

●今後、このグループはリノベーションスクールを広める方向で動くということで考えて良いか？

●空き家は把握しているのか？

○私は、市の空き家サポーターに登録しているので、資料は持っている。但し、空き家所有者の理解が得られないと活動が進められないので、空き家所有の方をご存じであれば紹介してほしい。福野家守舎の活動としてダイレクトメールも送付しているがそれだけでは理解されず、ご近所さんなどの口添えがあると理解も得やすい。リノベーションも自分たちで行っている。

→市全体から参加を募るなどリノベーションの活動が市内に広まっていくというのは、とても素晴らしいことだと思う。

○市内4地域全体で勉強すればいいか。今後の進め方についてはこのような具合で良いか？

→今後のこのグループの進め方について、グループメンバーからご意見をいただいて、その意見を基に考えていきたい。進む方向が決まれば、また皆さんからアイデアをいただく。欠席される場合には事前にご意見の提出をお願いする、というのでどうか。

○では、次回は、このグループの検討の方向性について検討することとしたい。

◆次回会議

8月19日（月）午後7時から、福野庁舎2階 201会議室
1. 具体的な取組内容の検討

※次回会議を欠席される場合は、8／13までに今後の進め方についてのご意見をお聞かせいただきたい。

グループ名：空き家等活用グループ

①駅舎・駅前の利活用について

- 駅舎は、学生さんを始め利用者の方にもっと快適に過ごせるようにしたいですね。
- また、観光客にとっては、町の顔！福野に一步踏み込んだ時の印象を良くしたいです…。
- 市、市民で出来ることをしていきたいです。

②庁舎（庁舎跡地）の利活用について

- 庁舎の跡地は、やはり住宅が良い。未来都市的な…。早めに市の判断（会社、工場等の買い手があるのか…？）を決めていただき、3区間の特性のある住宅街にしてほしい。

③ファブリカ跡地の利活用について

- 産業廃棄物の問題解決を早くしていただきたいですね。
- ファブリカの跡地は住民の憩いの場になるような事。

④空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について

- 前回も話がまとまりましたが、私たちの班が現実に出来る事だと思います。家守舎の活動を、みんなで応援、且つ市全体に広めていくようにすれば良いと思います。
- また、横町通り、上町通りの空き店舗は、月に1～2回の決めた日に商店会の方や福野高校、福野小学校、福野中学校に開放して、自分たちで出店するはどうだろうか？
- いつも27マルシェをしているけれど、福野神明社を利用して、参道などにテントを張って日陰をつくると、子どもたちも広い境内で遊べると思う。

連絡事項

グループ名：空き家等活用グループ

①駅舎・駅前の利活用について

- 駅舎については、南砺唯一の公立高校となる福野高校へのアクセス向上と子供たちの安全を守る為にも駅舎橋上化等の検討が必要。
- 駅前については、旧グリーントップの場所にクリゾンテムのような複合施設を建設するという構想があり、それを軸に一層集客力のある魅力的な駅前ゾーンにしたい。

②庁舎（庁舎跡地）の利活用について

- 駅前に複合施設が実現すると仮定するならば宅地造成。

③ファブリカ跡地の利活用について

- 高齢者、障がい者、子供たちが触れ合う総合福祉ゾーンとして開発が進んでいるが、現状は駐車場もバラバラで一体感に欠ける。駐車場を共用させ、公園を中心部に配置するなどして一体感を持たせたい。
- また、それぞれの地域や組織からの個々の要望に応える形で統一感のない街づくりにならないよう、宅地造成を含めた全体的なグランドデザインを再度固めた上で開発を進めたい。
- 福野地域の未来にファブリカ跡地は大きな影響を与えるので大切にしたい。

④空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について

- 福野には、古い歴史を持つ建物が幸いにも残っており、それらをゲストハウスやベッド&ブレックファスト的な宿泊施設、飲食店等にリノベするのは面白いと思う。
- 資金は、クラウドファンディング等を活用したり、国、県、市の補助金等の活用なども考えられる。

連絡事項

グループ名：空き家等活用グループ

①駅舎・駅前の利活用について

- 高校生が世界にはばたく学びの場

②庁舎（庁舎跡地）の利活用について

- エコビレッジ住宅ゾーン2

③ファブリカ跡地の利活用について

- となみ野エリアを経済圏と捉えたソウルフードの拠点

④空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について

- 今年度ビジョン作りを進める

連絡事項